

第六回 塩津能の會 九州公演

令和元年12月14日(土)午後1時30分開演
(12時30分開場)

大濠公園能楽堂

福岡県福岡市中央区大濠公園1番5号 TEL 092-715-2155
<http://www.ohori-nougaku.jp>

【鑑賞券】

正面特別指定席	/10,000円
正面(指定席)	/7,000円
脇正面(指定席)	/5,000円
中正面(指定席)	/4,000円
正面(自由席)	/6,000円
脇正面(自由席)	/4,000円
中正面(自由席)	/3,000円

【電話予約・お問合せ】

塩津能の會事務局

TEL/FAX:03-3330-6803

【オンラインチケット申し込み】

<http://kita-noh.com/ticket>

(クレジットカード決済・コンビニ購入受取が可能です。)

塩津能の會オフィシャルサイト
<http://www.shiotsu-noh.com>

詳しくはこちらへ→



主催:一般社団法人 塩津能の會

【会場案内】



能とは?

能とは舞(動き)と謡(歌・セリフ)による舞台演劇です。しかし、現代の演劇の多半がドキュメンタリー、つまり時間圧縮した物語であるのに対し、能は逆ドキュメンタリ、衝撃的な瞬の出来事を引き延ばしたものです。一瞬とは人の出会い、別れ、生死などをいい、これらの背景にあるさまざまな物語を、観る人それぞれが心の中に描きます。これによって能は百人が観れば百通りの見方ができる舞台芸術です。つまり瞬の人との感想が違うことが常で、そこが難解と言われるところです。しかしこれこそが能の持つ魅力です。

九州(福岡)
での喜多流の歴史

大濠能楽堂を擁する福岡は喜多流にとって由縁の地です。流祖・喜多七太夫長能が黒田藩の庇護を受けたことで開流に繋がりました。また明治維新の動乱期にも喜多流の大先達梅津只圓が黒田藩のお抱え能楽師として困難を乗り越え、福岡の能楽の隆盛を築きました。大濠公園能楽堂の中庭にあるのは只圓翁の胸像です。この由縁の地福岡に、またひとつ能楽・喜多流の新しい灯を燈すために、熊本ゆかりの能楽師塩津哲生・圭介が「塩津能の會」九州公演第六回目を催します。日本が世界に誇る伝統芸術、能楽の精華を文化豊かに薫る福岡の地に、そして広く九州の地へとあらたに拡げることを目指して活動に取り組んでまいります。

文化継承!

和風建築が減少し、畳の部屋がないという住まいも多く見られ、正座という礼儀作法すら出来ない、知らない人達が増加している現状にはとても不安を感じます。昨今文化発展向上の声はありながら、伝統文化の衰退が目につきます。能界の先人達も能の魅力を後世伝えようと、明治維新も敗戦の困窮時もひたすらにその道を全うして来られました。喜多流の九州内での催しが激減した現状を何とか再興し、先人の思いを継ぎ伝えることが現代に生きる私達の使命と思います。

第六回 塩津能の會 九州公演

おはなし

塩津 圭介

舞雛子

歌 占

塩津 哲生

大鼓 小鼓 飯田 清一

相原 一彦

狂言

子盜人

シテ(博奕打) 野村 万禄

アド(乳母) 吉住 吉良

博靖 講

佐々木多門

あらすじ

海人

</div